



「ふるさと研究活動」は、ふるさと所沢の自然・歴史・芸術・文化等に関する資料を収集、調査・研究をして、その成果を展示・講座等の事業を通じて、広く市民に伝えていくことを目的としています。この「ふるさと研究ニュース」は、市民のみなさんに、所沢のことを知っていただける機会や情報をおとどけする情報紙です。所沢をもっと知りたい方、ぜひご活用ください。

## 令和4年度 文化財保護課の主な開催事業報告

令和4年

7月23日(土) 体験学習会「目指せ！昆虫博士～セミのぬけがらを探そう～」

7月30日(土) 秋田家住宅特別公開

8月2日(火)～31日(水) 夏季企画展「戦争の時代を生きた市民 1931～1945」

8月24日(水) 夏休み自然学習会「親子で学ぼう！夏の星空」(共催:生涯学習推進センター)

9月27日(火) 三ヶ島葎子資料室講演会「浪漫派の葎子・写実派の葎子」

11月2日(水)・13日(日)・20日(日)・27日(日)

ふるさと研究講座探究編 クローズアップ所沢「ふるさと所沢のウラを知る」

11月5日(土)～20日(日) 「小茂田青樹写生画・山路真護油彩画展」

11月25日(金) 明治天皇行在所跡の見学会

11月19日(土) 秋田家住宅特別公開

12月3日(土) 体験学習会「狭山丘陵 ちょっと地層を見て歩き」

12月17日(土) 所沢市寿町歴史的建造物整備活用基本方針(素案)市民フォーラム

12月27日(火)～令和5年1月26日(木)

所沢市寿町歴史的建造物整備活用基本方針(素案)に対するパブリックコメント手続

令和5年

1月31日(火)～3月5日(日) 冬季企画展「昔さがし展～病とくらし～」

2月4日(土) 滝の城跡第10次発掘調査の現地説明会(埋蔵文化財調査センター)

2月6日(月)・13日(月)・20日(月)・28日(火)・3月6日(月)「第10期 市民学芸員養成講座」

3月12日(土) 秋田家住宅特別公開

令和5年度も、皆様に「ふるさと所沢」を **もっと** 知っていただくために、事業を開催していきます。

令和4年度の事業にご参加できなかった方は、今年こそ、ぜひご参加ください。お待ちしております！



夏季企画展 展示解説



ふるさと所沢のウラを知る



狭山丘陵 ちょっと地層を見て歩き



アブラゼミの  
ぬけがら



秋田家住宅  
(国登録有形文化財)



ミヤコタナゴのオス

「ミヤコタナゴ」をご存じですか。ミヤコタナゴは、コイ目コイ科タナゴ亜科アブラボテ属の小型淡水魚です。1974年に国の天然記念物に、1994年に国内希少野生動植物種に指定されています。そのため、許可のない捕獲採集や飼育、譲渡売買は禁じられています。

所沢市では、埋蔵文化財調査センターにおいて、このミヤコタナゴの保護と人工増殖に取り組み、種の保存に努めています。ひれに色がついているのがオス、所沢では、「ナナイロ」や「アカンチョ」、メスは、ひれが透明なので、「シランチョ」と呼ばれていました。

また、郷土学習の一環として、その年に生まれた稚魚のうち、オス・メス各5匹ずつを1歳になるまで、市内の各小学校で育ててもらっています。

市内全小学校のほか、市役所本庁舎1階や中央公民館、上山中学校でも飼育されています。

大切に育てられたミヤコタナゴは、埋蔵文化財調査センター、市役所、中央公民館で見られます。

## 大相撲が所沢に来た!?

〈ふるさと研究市民トピックvol.28〉

江戸時代には力自慢の中から、相撲を職業とする人たちが現れ、全国で勸進相撲(※注1)が行われるようになりました。現在の大相撲は、江戸の勸進相撲がその前身です。江戸の勸進相撲は、1800年代には本所回向院で毎年春と冬の2回催されていました。それ以外に、今日でいう地方巡業が行われていました。

所沢でも、嘉永4年(1851)4月21日から25日に小手指の北野天神社で勸進相撲が行われ、幕内力士の代表として、東の関脇小柳と西の大関(※注2)鏡岩など、幕内力士16人を含む160人の力士が参加したという記録があります。(※1)

嘉永7年(1854)9月11日には、入間郡坂之下村(現所沢市坂之下)で三日間相撲の興行が行われ、この興行に新座郡館村の引又町(現志木市)の町民が多数関わっていたという記録もあります。(※2)

また、興行の日付等は不明ですが、明治8年5月に行われた「所沢興行相撲番付表」が残されています。(※3)

明治29年(1896)2月26日の朝日新聞には、「大戸平、大砲の一行は八王子より所澤へ乗込む」と書かれています。

明治40年3月には、「梅ヶ谷・常陸山の両横綱に國見山・荒岩の兩大関、太刀山・玉椿の關脇にて其一行450餘名云ふ東京大相撲は、来る11日より雨天順延にて三日間入間郡所澤町字南原に興行」がされたようです。(※4) なお、この巡業時に「武州所澤にて興行の大相撲梅ヶ谷・常陸山の一行は、11日より三日間好況のうちに打揚げて昨日帰京したるが、興行中因らざるも一椿事を生じたり」と12日夜、力士同士の争闘があったとの新聞記事が、興行より大きく掲載されています。(※5)

明治45年(1912)3月、有明上ヶ汐の一行が所澤に三日の予定で地方を巡回したとあり(※6)、大正5(1916)年3月18日には、伊勢ノ濱・玉手山一行が所澤に来ています。(※7) この時のことが「玉椿飛行機に乗りて」と題し「力士玉椿は、21日午前8時頃所澤飛行場に姿を現し、某飛行將校に懇請して飛行機に同乗し午前9時より約20分間八百米突(メートル)の上空を飛行し、目下所澤町に興行中の伊勢の濱・玉手山一行の土俵を一周せり。玉椿は飛行機上の人として力士中の第一人者なりとて深く悦び居たり」と新聞に書かれています。(※8)

当時の新聞記事等からは、大相撲の人気とともに、所沢に来たら、力士といえど飛行機に乗ってみたかったという気持ちが伝わってきます。

※注1 勸進相撲…寺社の建築や修繕の為の寄付を募ることを目的に興行する相撲

※注2 当時は大関が最高位 両力士(小柳と鏡岩)は歌川国貞の錦絵にも取り上げられている

〈参考資料〉\*1 公民館だより「こてさし」2006年12月15日第325号

\*2 『志木市史 星野半右衛門日記』志木市/編 1982年

\*3 『所沢市史 近代史料1』所沢市史編さん委員会/編 1982年

\*4 「埼玉新報」明治40年(1907)3月8日付(『所沢関係新聞雑誌記事資料1 明治編』)及び『写真集 所沢』所沢市史編さん委員会/編 1986年

\*5 「朝日新聞」明治40年(1907)3月15日付東京朝刊 及び

「埼玉新報」明治40年(1907)3月16日付(『所沢関係新聞雑誌記事資料1 明治編』)

\*6 「朝日新聞」明治45年(1912)2月29日付東京朝刊

\*7 「国民新聞」大正5年(1916)3月15日付(『所沢関係新聞雑誌記事資料2 大正編』)

\*8 「読売新聞」大正5年(1916)3月22日付朝刊